

このたびの令和7年11月大分市佐賀関の大規模火災により、被災された方々に謹んでお見舞い申し上げます。

冬本番！火の用心 🔥 乾燥と火の使用増加に最大限の警戒を！

この時期は暖房機器などの火を使用する機会が増え、また空気が乾燥し、火災が起きやすく、燃え広がる速度も速くなり、初期消火では対応しきれなくなります。



出典：大分放送 2025年11月18日(火)22:52

気象庁は、「12月、1月、2月の3か月予報で、東日本の太平洋側、西日本、沖縄・奄美は降水量が平年より少なくなる見通し」と発表しました。

太平洋側は平年でも乾燥しやすい季節ですが、**今回の予報ではさらに雨が少ない傾向**と予測されています。特に少雨が予想されている地域では、火気の取り扱いに最大限の注意が必要です。

冬季は、暖房器具の使用増加と空気の乾燥により火災が多発します。「火災を防ぎ、大切な命を守る」ため、右の点検項目を必ず実行しましょう。

ご家庭向け

冬の火災原因トップ3と対策

火災原因	具体的な危険性	今すぐに行える対策
ストーブ	近くに燃えやすいもの（洗濯物、布団、スプレー缶など）がある。	ストーブから1m以上離して可燃物を置く。
	給油時に火を消していない。	給油時は必ず火を消す。
コンロ	火をつけたまま、その場を離れる。	調理中は絶対にその場を離れない。
	油の入った鍋を放置する（天ぷら油火災）	離れる際は必ず火を消す習慣をつける。
たばこ	寝たばこや、吸い殻の不始末（灰皿の外に落ちる、完全に消えていない）。	- 寝たばこはしない。 - 灰皿に水を張るなど、完全に消火してから捨てる。 - 吸い殻は確実に消火を確認し、ポイ捨てはしない。

その他 火災予防のポイント



チェックポイント	今すぐに行える対策
コンセント周りの確認	- プラグにホコリが溜まっていないか（トラッキング現象） - タコ足配線になっていないか、電力容量を超えていないか
逃げ道の確保	玄関や窓など避難経路に物を置かず、すぐに避難できるか確認する
火災警報器の点検	作動点検を行って、電池切れや故障がないか確認しましょう

大切なご家族と財産を守るため、今一度、身の回りの火の元を確認し、火災予防に努めましょう。